Pioneer

簡単ガイド

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この「簡単ガイド」では本機を簡単に使うための基本的な接続と初期設定、再生操作を説明しています。より詳細な使い方の説明は付属のCD-ROM (💿) に収録されている「取扱説明書」をご覧ください。

お取り扱いについてお困りのとき
http://pioneer.jp/support/

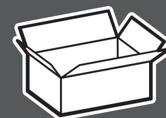
カスタマーサポートセンター
フリーコール **0120-944-222**
一般電話 **044-572-8102**

受付時間
月曜～金曜
9:30～18:00
土曜
9:30～12:00、13:00～17:00
(日曜·祝日·弊社休業日を除きます。)

※ フリーコールは、携帯電話·PHSからはご利用になれません。一般電話は、携帯電話·PHSからご利用可能ですが、通話料がかかります。

AVアンプ

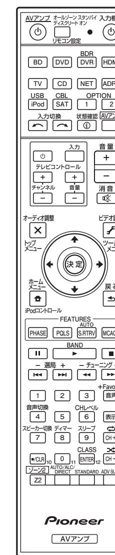
VSA-922



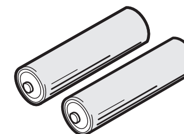
付属品を確認する

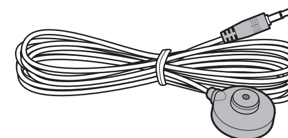


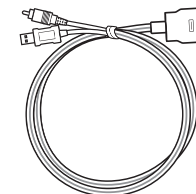
CD-ROM
（AVナビゲーター）

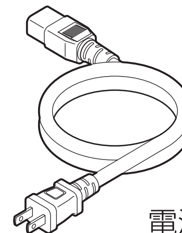


リモコン


単4形乾電池（2本）


セットアップ用マイク（5 m）


iPodケーブル

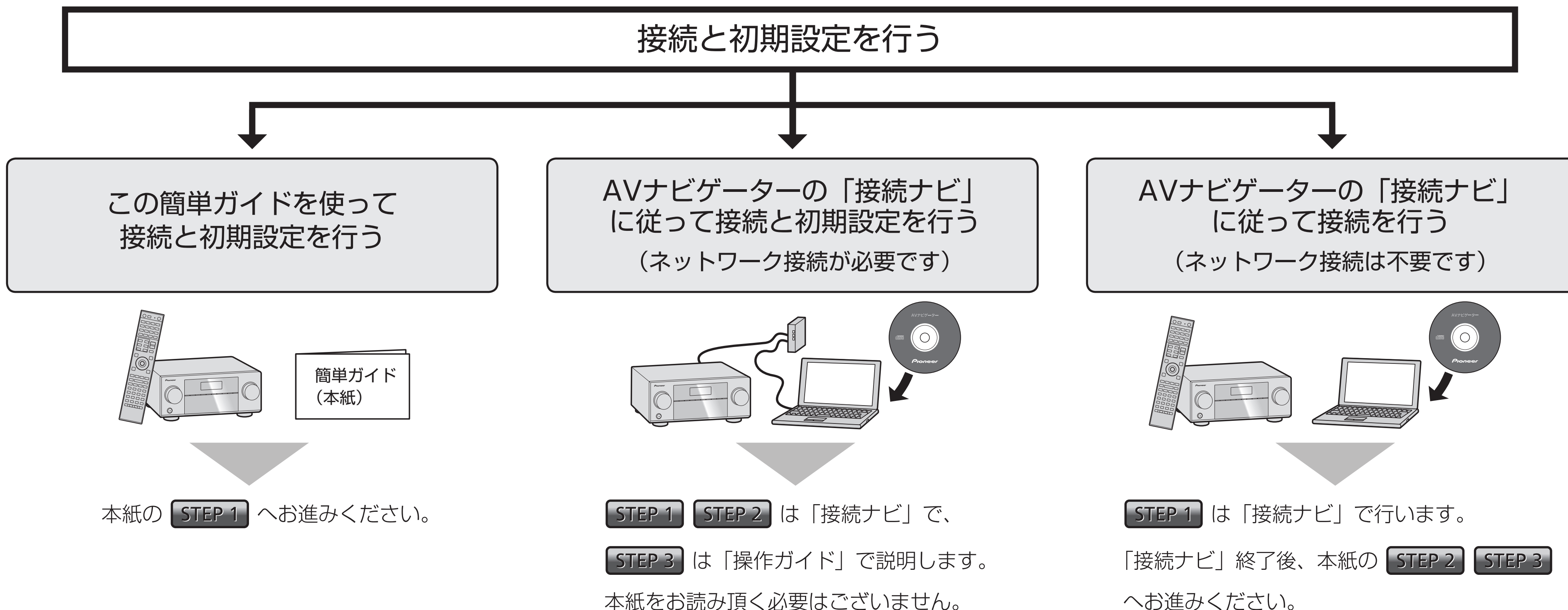

電源コード

簡単ガイド（本紙）
安全上のご注意
保証書

この簡単ガイドでは、STEP 1 **接続** → STEP 2 **初期設定** → STEP 3 **基本再生** の 3 つのステップでマルチチャンネル再生を行うところまで簡単にガイドします。

接続と初期設定は、付属のCD-ROM（AVナビゲーター）を使うと、より簡単に行うことができて便利です。

お客様のご使用環境に応じて、以下の 3 つの方法から 1 つを選んで STEP 1 **接続** から始めてください。



AVナビゲーターの使い方について

1　付属のCD-ROM（AVナビゲーター）をお客様のパソコンのCDドライブへセットする。

CD-ROMのトップメニュー画面が表示されます。

- AVナビゲーターは、Microsoft® Windows® XP/Vista/7 環境でご使用いただけます。
- 対応ブラウザは、Microsoft Internet Explorer 8または9です。
- AVナビゲーターの一部の機能を使用するには、Adobe® Flash® Player 10 をインストールする必要があります。
  詳しくは http://www.adobe.com/downloads/ をご覧ください。

2　画面の表示に従って「AVナビゲーター」のインストールを行う。

「完了」を選ぶとインストールの終了です。

3　パソコンのCDドライブから付属のCD-ROM（AVナビゲーター）を取り出す。

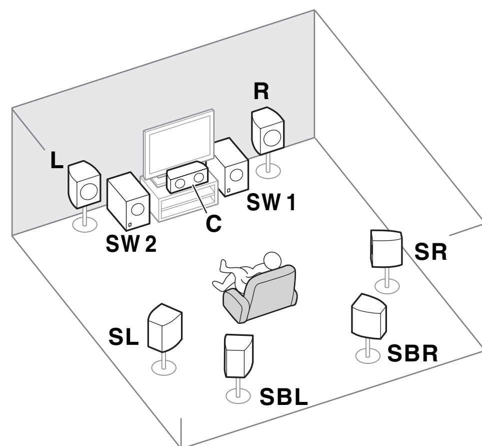
4　デスクトップの「AVナビゲーター 2012.I」をクリックしてAVナビゲーターを起動させる。

- AVナビゲーターが起動し、**接続ナビ**が始まります。
- パソコンのネットワークの設定やセキュリティの設定によりAVナビゲーターが正しくインストールされなかったり、一部の機能が使用できないことがあります。

① スピーカーを接続する

スピーカーはフロントスピーカーを 2 本接続するだけでも本機をご使用になれますが、マルチチャンネルサラウンド再生をしたいときは、7.1ch スピーカー接続（または 5.1ch スピーカー接続）をお勧めします。

7.1ch スピーカー配置例：

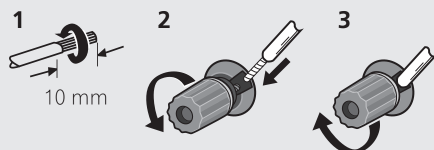


L – フロント左
C – センター
R – フロント右
SL – サラウンド左
SR – サラウンド右
SBL – サラウンドバック左
SBR – サラウンドバック右
SW – サブウーファー

スピーカーコードの接続について

- スピーカーと本機の L（左）および R（右）端子どうしを正しく接続してください。
- スピーカーと本機の ⊕ および ⊖ 端子どうしを正しく接続してください。

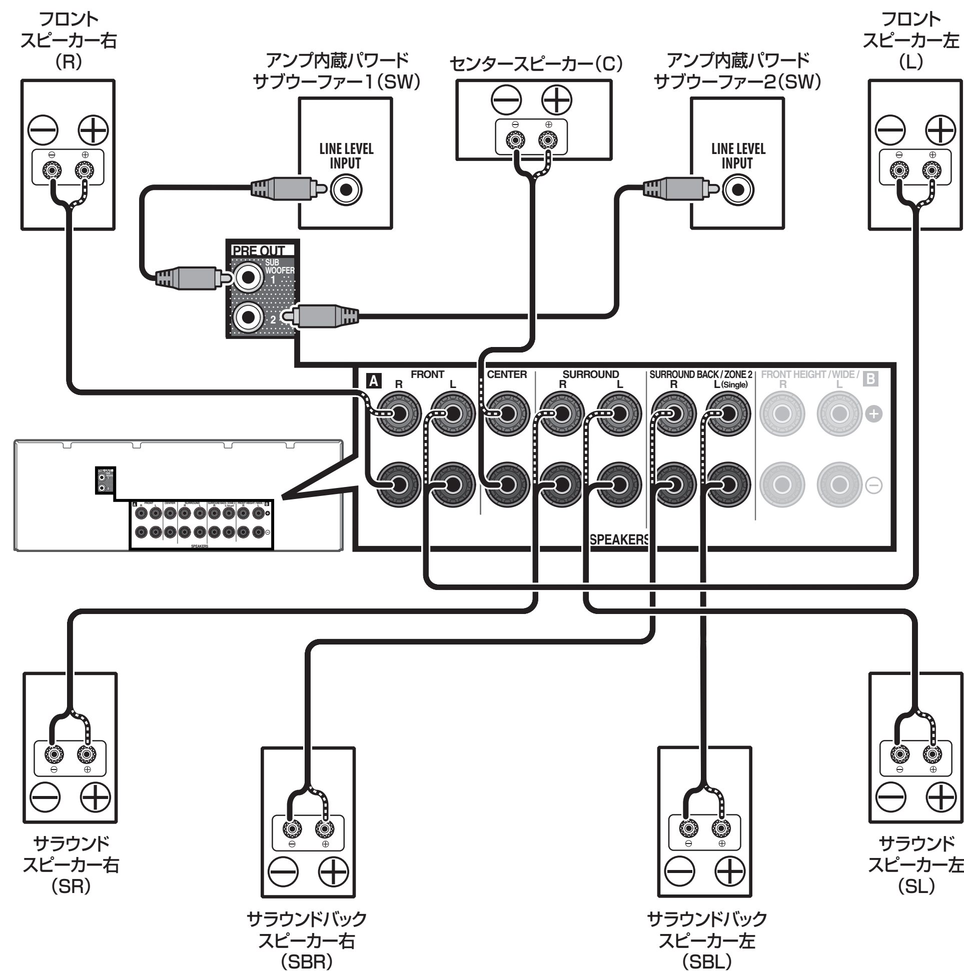
1 線をねじる。
2 スピーカー端子を緩め、スピーカーコードを差し込む。
3 スピーカー端子を締めつける。



⚠ 注意

- スピーカーコードを接続するときは、芯線をしっかりねじり、スピーカー端子からはみ出していないことを確認してください。芯線がリアパネルに接触したり、⊕ および ⊖ が接触すると保護回路が働いて電源がスタンバイ状態になることがあります。
- スピーカー端子には非常に高い電圧が出力されます。感電の危険を避けるため、スピーカーを接続する前に必ず電源コードを抜いてください。

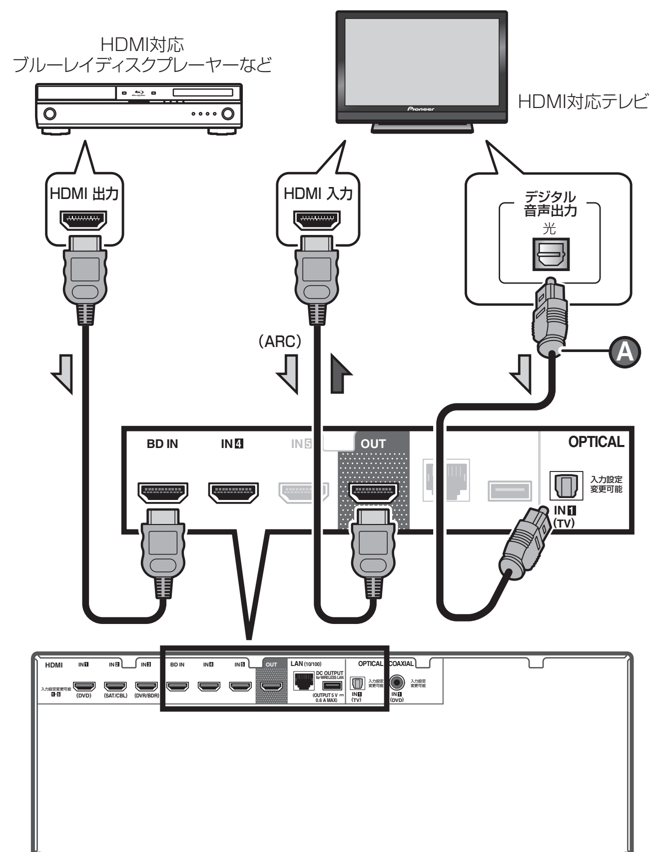
スピーカーを配置してから以下のように接続を行います。



メモ

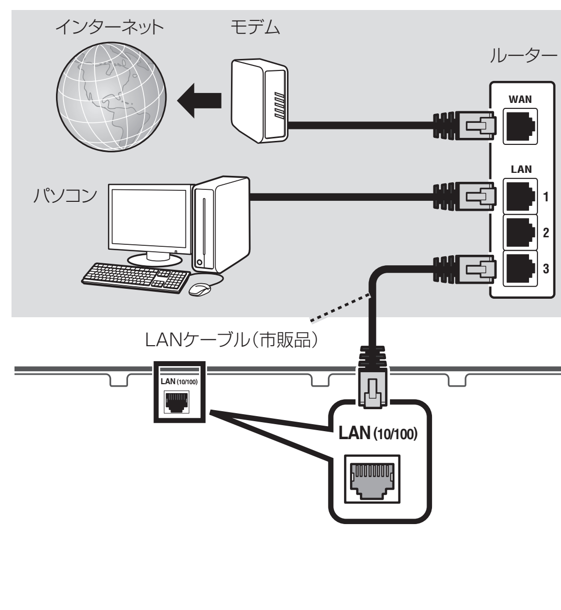
- 本機は公称インピーダンスが 6 Ω ～ 16 Ω のスピーカーに対応しています。
- サブウーファーを 2 台お持ちの場合は、SUBWOOFER 2 端子に 2 台目のサブウーファーを接続することができます。サブウーファーを 2 台接続することで低音が増し、より迫力のある再生を実現します。このとき、2 つのサブウーファーからは同じ音が出力されます。

② テレビと再生機器を接続する

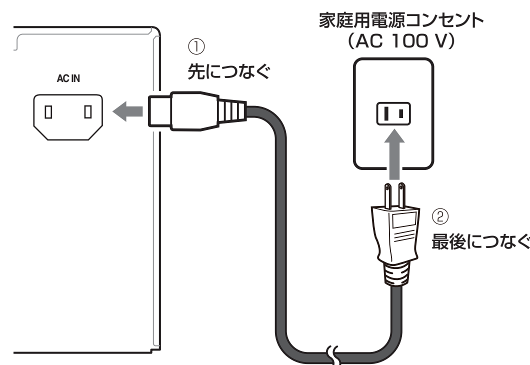


- HDMI 対応テレビがオーディオリターンチャンネル（ARC）に対応していない場合、テレビの音声を本機で聞くには光デジタルケーブル（Ⓐ）での接続が必要になります。
- HDMI 対応テレビがオーディオリターンチャンネル（ARC）に対応している場合、テレビの音声は HDMI 経由で本機に入力されるため、光デジタルケーブル（Ⓐ）による音声の接続は必要ありません。この場合、**HDMI 設定**の **ARC** の設定を **ON** に設定してください（CD-ROM に収録されている取扱説明書の「HDMI によるコントロール機能を設定する」参照）。

③ LAN端子を接続する



④ 電源コードを接続する



- すべての接続が終了したら、電源コードを家庭用電源コンセント（AC 100 V）に接続します。

メモ

- テレビや再生機器を HDMI 以外で接続したいときは、付属の CD-ROM に収録されている取扱説明書をご覧ください。
- その他の機器の接続については、付属の CD-ROM に収録されている取扱説明書をご覧ください。

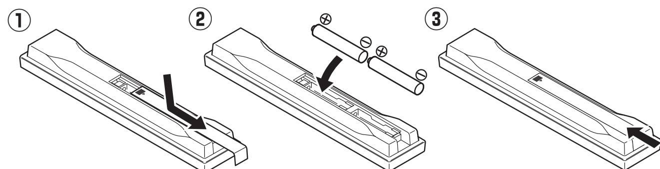
注意

- 本機を設置する場合には、壁から 10 ｃm以上の間隔をあけてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本機の天面から 20 ｃm以上、背面から 10 ｃm以上、側面から 20 ｃm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

STEP 2 初期設定

① 準備する

1 リモコンに電池を入れる。



- 本機に付属の電池は動作確認用のため、短期間で寿命となることがあります。なお、市販のアルカリ電池を使用すると、長期間操作が可能になります。

2 本機とテレビの電源を入れる。



3 テレビの入力を本機の接続した入力に合わせる。

4 サブウーファーの電源を入れて音量を上げておく。

警告

- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

注意

- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

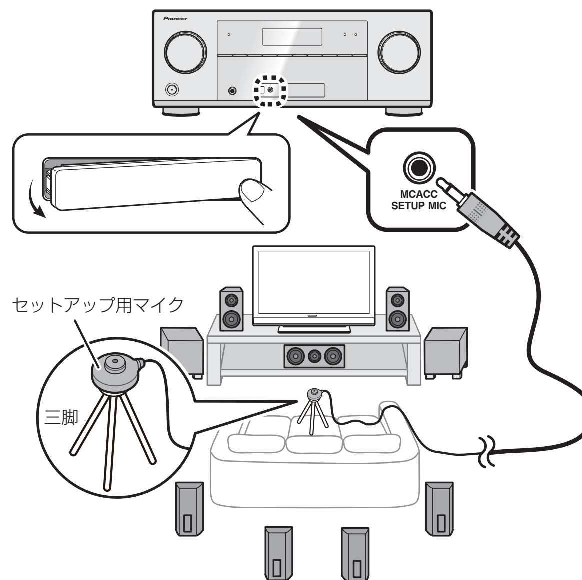
② フルオートMCACCで自動設定する

フルオート MCACC ではスピーカーから出力されるテストトーンを付属のセットアップ用マイクで測定し、解析します。自動で高精度に測定、設定することができますので、この自動設定を行うだけでお客様にとって最適な環境で視聴できるようになります。

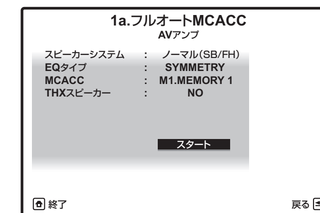
重要

- 測定は静かな環境で行ってください。
- セットアップ用マイクは、三脚などを使用してリスニングポジションの耳の高さに設置してください（三脚がない場合は、なるべく三脚に代わるものを用意してください）。
- スピーカーとリスニングポジション（マイク）の間に障害物があると、正確に測定できない場合があります。
- 測定中はリスニングポジションから離れて、各スピーカーの外側からリモコンで操作を行ってください。

1 付属のセットアップ用マイクを接続する。



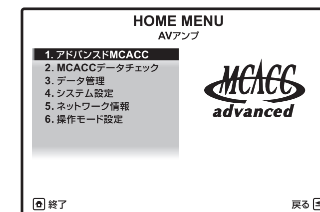
2 [スタート] が選ばれるので、リモコンの AVアンプ ボタンを押してから決定ボタンを押す。



- 自動測定が始まります。
- 測定には 3 ～ 12 分程度かかります。

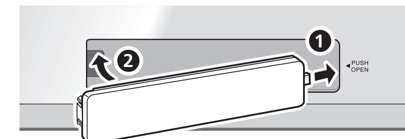
3 画面の指示に従って自動設定を進めます。

HOME MENU 画面が表示されたら自動測定は終了です。

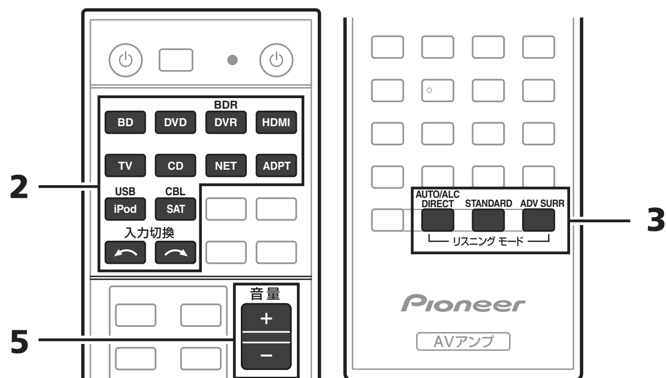


4 マイクを抜く。

マイクを抜いたあと、フロントカバーを以下のように取り付けます。



① マルチチャンネル再生をする



1 再生機器の電源を入れる。

例）HDMI の BD 端子に接続したブルーレイディスクプレーヤーの電源を入れる

2 本機の入力を切り換える。

例）BD ボタンを押して BD 入力に切り換える。

3 AUTO/ALC/DIRECT ボタンを押して「AUTO SURROUND」を選ぶ。

STANDARD ボタン、ADV SURR ボタンを押すことでもマルチチャンネル再生できます。お好みのリスニングモードを選んでください。

4 再生機器の再生を開始する。

例）ブルーレイディスクプレーヤーの再生を開始する。

5 音量を調節する

消音ボタンを押すことで音を一時的に消すことができます。もう一度押すと戻ります。

重要

- 本機のリモコン操作を行うときは AVアンプ ボタンを押して、リモコンを AV アンプ操作モードにしてから操作してください。
- 本機のリモコンは本機の操作以外にも iPod/USB やブルーレイディスクプレーヤー、テレビなどさまざまな機器の操作を行うことができます。
  例）ブルーレイディスクプレーヤーの再生

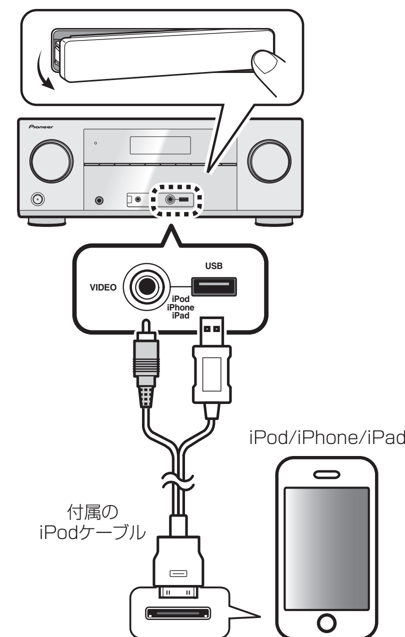


- 電源をオンにしてからネットワーク機能（インターネットラジオ入力など）や iPod/USB、ADAPTER PORT 入力が使えるまで約 1 分かかります。
- 本機は初期設定でデモモードがオンになっています。電源を入れるとフロントパネルディスプレイにいろいろな表示がデモ表示されます。デモモードはフルオート MCACC を行うことで解除されますが、CD-ROM に収録されている取扱説明書にも解除方法が記載されています。詳しくは「デモ表示を解除する」をご覧ください。

② iPodを再生する

1 iPod を接続する

本機には iPod/iPhone/iPad を接続することができます。



2 iPod USB ボタンを押して、iPod/USB 入力にする。

テレビ画面に iPod のカテゴリー画面が表示されます。

3 ⬆/⬇ ボタンで再生したいカテゴリーを選んで決定ボタンを押す。

4 ⬆/⬇/⬅/➡ ボタンで再生したいリスト（ジャンル、アルバムなど）を選んで決定ボタンを押す。

5 手順 4 を繰り返して、聞きたい曲を再生する。

③ インターネットラジオを聴く

重要

- インターネットラジオを聴くには、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。
- インターネットラジオを聴くときはインターネットをブロードバンドで接続してください。56 K モデムや ISDN では十分にお楽しみいただけないことがあります。
- 外部コンテンツのアクセスには高速インターネットへの接続が必要であり、プロバイダーへの登録や契約が必要となります。第三者が提供するコンテンツのサービスは、予告なく、変更、中断、中止される可能性があり、パイオニアは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。パイオニアは、外部コンテンツの提供サービスの継続や利用可能期間について、いかなる保証もしません。

1 NET ボタンを繰り返し押して、入力を INTERNET RADIO にする。

ネットワークに接続するため、多少時間がかかることがあります。

2 ⬆/⬇ ボタンで再生したい放送局を選んで、決定ボタンを押す。

本機が持つ多くの機能を存分にお楽しみいただくために

付属のCD-ROMからAVナビゲーターをパソコンへインストールし、「取説連動」をお使いください。

CD-ROM をパソコンへロードし、メニュー画面から取扱説明書の PDF をお読みください。

主な機能説明の紹介
■ USB メモリーを再生する
■ BLUETOOTH アダプターを使用してワイヤレスで音楽を楽しむ
■ ネットワーク機能を再生する
■ オーディオ調整機能を使用する
■ ビデオ調整機能を使用する
■ 別の部屋で本機の音を再生する～マルチゾーン機能～

困ったときは
用語集
機能別索引

インターネットによるお客様登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびはパイオニア製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。
左記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせ
などをお届けいたします。なお、左記アドレスは、困ったときのよくある質問や
各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役
に立てるサービスの提供を目的としたページです。

パイオニア株式会社
〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

JIS C 61000-3-2 適合品

<5707-00000-666-0S>